

# 令和2年度 ひばり認定こども園自己評価結果

## 1. 教育・保育の目標

園児一人一人に応じた教育・保育を一体的に行い、心身ともに健康で明るく、たくましい子を育てる。

- 目指す子どもの姿
  - げんきにあそぶ子
  - あいさつのできる子
  - おもいやりのある子
  - じぶんのことはじぶんでできる子

## 2. 重点的に取り組む目標・計画

- 新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を徹底し、安全に過ごせる環境づくりに努める。
- 教育・保育の質の向上及び園内外における活動を充実させていけるようにする。
- 職員研修の継続的実践と資質の向上を図る。
- 関係機関との連携を取り合い、小学校への移行がスムーズに行えるようにする。
- ホームページや園だより等を活用し、家庭や地域へ情報発信を行う。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組状況
認定こども園教育・保育要領に基づき、園児の実態に即した指導計画が作成されている。	A	園内研修等において、本園の園児の実態に即した教育課程・年間指導計画を丁寧に見直し、作成することができた。
指導計画により、計画的に教育・保育が行われている。	B	指導計画の見直しをしていくことで、発達に応じた計画や評価・改善がなされ、計画的に教育・保育が実践できた。
教育・保育に適切な環境が構成されている。	A	昨年度に引き続き園内研修の研究テーマを「おもわず体を動かしたくなるような環境づくりを目指して」と設定し、職員間で情報を共有しながら改めて環境構成の大切さを学び、各年齢・発達に応じた教育・保育を進めることができた。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導が行われている。	B	園児の発達や生活リズムに配慮し、一人一人に応じた援助を心がけ、コロナ禍の中での新しい生活様式を取り入れた生活習慣の定着に向けての指導を行った。
職員の資質向上に係る取組について	A	園内研修（研究テーマに沿った研修・外部講師を招いての研修・事例研究等）により保育の見直しや検討を行い、資質向上に繋げていった。
こ小連携に係る取組について	A	保育教諭による小学校授業参観、年長児による学校訪問、小学校教諭による園訪問、ハッピースローププラン各部会への参加等で小学校との情報の共有を行った。

安全管理の取組について	A	コロナウイルス感染拡大予防対策として備品（空気清浄機・テーブル・殺菌庫等）の導入を行い、感染予防に努めた。避難訓練や交通安全教室の定期的な実施及び施設内外の点検を行い安全管理に取り組んだ。また、緊急時の対応マニュアル等を検討し、職員間で共有を図った。
子育て支援事業について	C	個人懇談はコロナウイルス感染拡大予防対策をした上で実施できたが、保育参観や幼児教育学級、親子読書教室は実施することができなかった。 預かり保育や一時保育を必要に応じて行った。
情報の公開・発信について	B	ホームページ・一斉メールの送信、毎月の園だよりの発行等を通して情報の公開・発信を行った。

※評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

4. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
保育教諭の資質向上	園内研修の内容の充実を図る。 外部研修への参加。
こ小連携	関係機関との連携を密にし、情報の共有を行い、円滑な接続が図れるように努める。
情報の発信	ホームページ・一斉メール・園だより等で園の情報を発信し、保護者との連携が図れるようにする。
安全管理の徹底	新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を徹底し、感染予防に努める。 危機管理マニュアルの周知徹底を図る。

令和3年3月31日

評価者

那珂川町立ひばり認定こども園

園長 永森 あつ子